

NYマーケットレポート(2013年9月4日)

昨夜のNY外国為替市場は、欧州の主要株価が下落したことや、米貿易収支で赤字額が予想以上に拡大したことを受けて、序盤のドル円・クロス円はやや軟調な動きとなりました。その後、割安感を背景に株価の上昇が続いたことから、投資家のリスク志向の動きが強まり、安全資産の円を売る動きが優勢となりました。円は、大半の主要通貨に対して下落する動きとなりました。しかし、終盤には、米上院外交委員会がシリアへの限定的な軍事攻撃を認める決議案を可決したとのヘッドラインを受けて、投資家リスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円が下落する場面もありました。

2013/9/4 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	99.60	99.81	99.43
EUR/JPY	131.06	131.44	130.95
GBP/JPY	155.11	155.34	154.77
AUD/JPY	91.03	91.04	89.99
EUR/USD	1.3160	1.3178	1.3157

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	99.66	99.40
EUR/JPY	131.24	130.97
GBP/JPY	155.66	155.09
AUD/JPY	91.30	90.95
EUR/USD	1.3187	1.3159

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14053.87	+75.43
ハンセン指数	22326.22	-68.36
上海総合	2127.62	+0.01
韓国総合指数	1933.03	-0.71
豪ASX200	5161.64	-34.93
インドSENSEX指数	18567.55	+332.89
シンガポールST指数	3015.42	-39.36

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6474.74	+6.33
仏CAC40	3980.42	+6.35
独DAX	8195.92	+15.21
ST欧州600	302.34	+0.56
西IBEX35指数	8490.30	+45.10
伊FTSE MIB指数	16712.20	-228.83
南ア 全株指数	42522.80	-369.45

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	99.71	99.82	99.33
EUR/JPY	131.67	131.81	130.82
GBP/JPY	155.80	156.01	155.04
AUD/JPY	91.42	91.56	90.97
NZD/JPY	78.85	79.03	78.35
EUR/USD	1.3206	1.3218	1.3164
AUD/USD	0.9169	0.9188	0.9151

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	14930.87	+96.91
S&P500	1653.08	+13.31
NASDAQ	3649.04	+36.43
その他主要株	終値	前日比
カナダ トロント総合	12757.81	+17.31
ブラジル ボルサ指数	39773.53	+232.02
ロシア ボベスバ指数	51716.16	+90.66

9/5 経済指標スケジュール

10:30	【豪】7月貿易収支
12:00	【日】日銀金融政策決定会合(正午過ぎ頃の予定)
14:30	【仏】2Q ILO失業率統計
16:30	【スウェーデン】政策金利発表
19:00	【独】7月製造業受注
20:00	【英】政策金利発表
20:30	【米】9月RBC消費者予測指数
20:45	【欧】政策金利発表
21:15	【米】8月ADP雇用統計
21:30	【米】新規失業保険申請件数
21:30	【米】失業保険継続受給者数
21:30	【米】2Q非農業部門労働生産性
22:00	【メキシコ】7月景気先行指数
23:00	【米】7月製造業受注指数
23:00	【米】8月ISM非製造業景況指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1390.00	-22.00
NY 原油	107.23	-1.31
CME コーン	494.00	-4.00
CBOT 大豆	1397.75	-37.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.47%	0.42%
3年債	0.87%	0.80%
5年債	1.74%	1.68%
7年債	2.36%	2.31%
10年債	2.90%	2.86%
30年債	3.80%	3.79%

9/5 主要会議・講演・その他予定

--

(出所:ブルームバーグ)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 99.48 ユーロ/円 131.03 ユーロ/ドル 1.3173

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6438.09	-30.32	ダウ INDEX FUTURE	14812	-15
仏 CAC40	3939.77	-34.30	S&P500 FUTURE	1638.50	-0.66
独 DAX	8126.25	-54.46	NASDAQ FUTURE	3094.00	+7.50

(出所:ブルームバーグ)

21:30

≪ 経済指標の結果 ≫

7月米貿易収支 -391億USD (予想 -386億USD・前回 -345億USD) 前回発表の-342億USD から-345億USD に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

≪米貿易収支≫

	7月	6月	5月	4月	3月	前年同月
入出超	-391.4	-345.4	-450.2	-401.5	-371.3	-434.5
輸出	1894.4	1905.2	1864.9	1869.4	1845.8	1833.8
輸入	2285.9	2250.7	2302.1	2264.6	2213.7	2268.3

(単位 億ドル)



(出所: ネットダニアー)

21 : 30

《 経済指標の結果 》

・ 7月カナダ国際商品貿易 -9.3億CAD (予想 -2.5億CAD・前回 -4.6億CAD)
 前回発表の-4.7億CADから-4.6億CAD



(出所: ブルームバーグ)

22 : 00

《 経済指標の結果 》

・ 8月メキシコ消費者態度指数 97.4 (予想 97.4・前回 98.0)



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 外国為替市場 序盤 》

・ 序盤の外国為替市場は、新規材料に乏しい中、小動きの展開が続いている。ただ、米貿易収支で赤字額が拡大したことから下げる場面もあったが、米雇用統計を控えやや様子見ムードが強い。

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	14824.70	-9.26
ナスダック	3621.65	+9.04

(出所:ブルームバーグ)

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

ISM ニューヨーク 60.5 (前回 67.8)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

・カナダ政策金利発表 1.00% (予想 1.00%・前回 1.00%)



(出所:ブルームバーグ)



23 : 00

《 経済指標の結果 》

・ 9月 IBD/TIPP 景気楽観指数 46.0 (予想 46.0・前回 45.1)



指標結果データ

《 IBD/TIPP 景気楽観指数 》

	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月
景気楽観指数	46.0	45.1	47.1	49.0	45.1	46.2	42.2
半年先の景気先行	45.9	45.8	48.1	51.2	43.1	47.1	38.8
資金繰り見通し	54.3	53.8	56.1	57.6	54.0	52.9	52.2
政府の政策信頼度	37.8	35.8	37.2	38.3	38.3	38.5	35.5

23 : 00

《 要人発言 》

米財務次官

- ・「日本は為替について G7 での約束を守る必要がある」

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米新車販売が堅調であることから、米景気の先行き期待による買いが入る一方、米国の対シリア軍事介入への警戒感による売りも出て、売り買い交錯する動きが続いている。ただ、8月の米雇用統計の発表を控え、様子見ムードも強く、値動きはやや限定的となっている。

《 経済指標のポイント 》

(1) MBA (全米抵当貸付銀行協会) の住宅ローン申請指数は、前週比+1.3%と4週間ぶりに上昇した。金利低下を背景に借り換えが増加したことが要因となった。構成指数では、借り換え指数が+2.4%となり、6月以来の上昇となった。また、購入指数は-0.4%となった。30年固定金利型の住宅ローン金利は4.73% (前週4.80%)、15年固定金利型は3.75% (前週3.84%) となった。申請件数全体に占める借り換えの割合は61.3% (前週60.1%) と、2011年4月以来の低水準となった。

(2) 7月の米貿易収支は、国際収支ベースでの赤字額が前月比+13.3%の391億4700万ドルと急拡大し、伸び率は2011年1月以来2年半ぶりの大きさとなった。欧州や日本、中国からの輸入が大幅に伸びるなど輸入総額が増えたものの、輸出総額が減ったことから、全体の赤字額が大きく拡大した。

①輸入総額は、+1.6%の2285億9300万ドル。原油や美術工芸品、半導体がプラスとなり、コンピューターやテレビ、携帯電話がマイナスとなった。

②輸出総額は、-0.6%の1894億4600万ドル。小麦やトウモロコシなどの農産物、石油精製品がプラスとなり、民間航空機や産業用エンジン、産業用機械がマイナスとなった。

③モノの貿易赤字は+41.0%の704億4400万ドル。原油の平均輸入価格は1バレル当たり97.07ドルに上昇、3ヵ月ぶりの高水準となった。

④対日赤字が+23.4%の68億1400万ドル、対中赤字は+12.9%の300億8300万ドル、対EU赤字は96.5%の139億3500万ドルとなり、赤字額はともに過去最大となった。

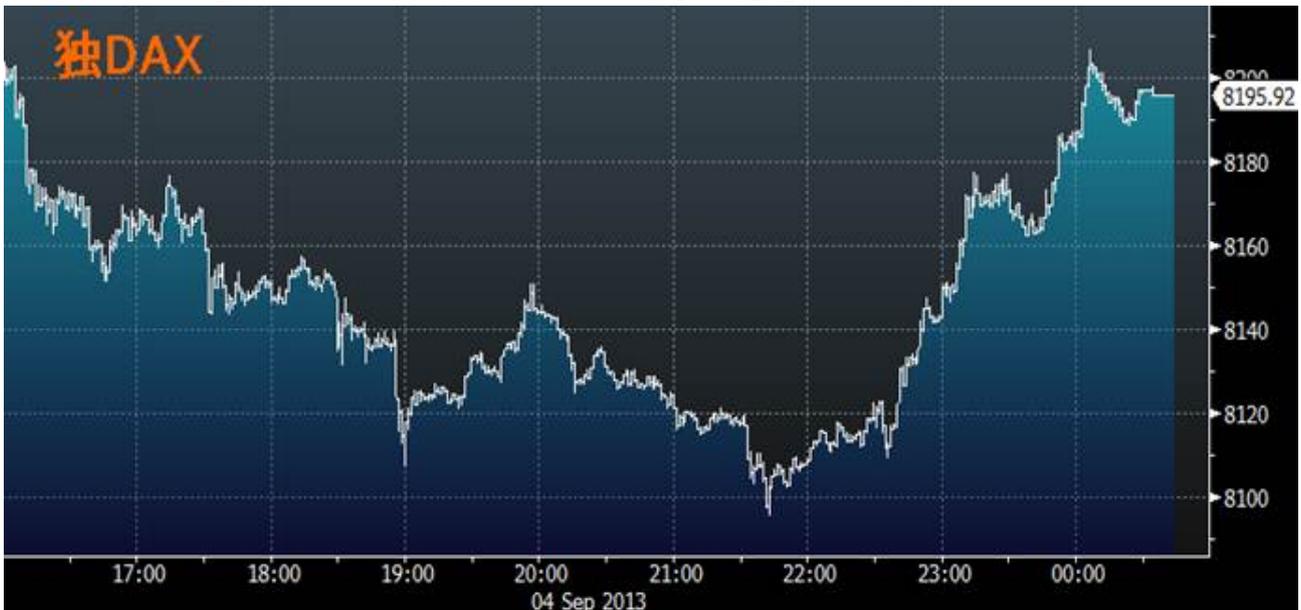
(3) 9月のIBD/TIPP景気楽観数は、46.0と前月の45.1から0.9ポイント上昇となった。しかし、節目の50は11ヵ月連続で下回る結果となった。IBD/TIPP指数は、ミシガン大やコンファレンスボードの消費者信頼感指数の先行指標として注目される。

欧州主要株	終値	前日比
英 FT100	6474.74	+6.33
仏 CAC40	3980.42	+6.35
独 DAX	8195.92	+15.21
ストック欧州 600 指数	302.34	+0.56
ユーロファースト 300 指数	1214.96	+2.57
スペイン IEX35 指数	8490.30	+45.10
イタリア FTSE MIB 指数	16712.20	-228.83
南ア アフリカ全株指数	42522.80	-369.45

(出所:ブルームバーグ)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、米国の対シリア軍事介入への警戒感から売りが先行したが、米国株が上昇したことを受けて、主要株価はプラス圏まで値を戻した。



(出所:ブルームバーグ)

0 : 35

FRB は、ニューヨーク連邦準備銀行を通じた公開市場操作により、14.7 億ドルの米長期国債の買い取りを実施した。

《8 月米自動車販売》

- ・クライスラー +12% (予想 +13%)、
- ・フォード +12% (予想 +10%)
- ・GM +14.7% (予想 +11%)
- ・トヨタ +22.8% (予想 +15%)
- ・日産自動車 +22.3% (予想 +17%)
- ・ホンダ +26.7% (予想 +20%)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 14945.68 (+111.72)、S&P500 1653.01 (+13.24)、ナスダック 3648.85 (+36.24)

《ここまでの動き》



(出所: ネットダニアー、ブルームバーグ)

- ①米貿易収支で赤字額が前月比+13.3%と急拡大し、伸び率が2011年1月以来2年半ぶりの大きさとなったことを受けてドル/円が軟調な動き。
- ②マイナス圏からスタートしたダウ平均株価が堅調な動きとなったことから、投資家のリスク志向の動きなどから、円が大半の主要通貨に対して下落する動きとなった。
- ③一旦下げる場面もあったが、堅調な株価動向を背景に、ドル円・クロス円はその後堅調な展開が続いた。

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、新規の手掛かり材料に乏しい中、最近の相場下落で値頃感が出たとして買い戻しが入る一方で、米量的緩和の早期縮小観測から売りも出て、もみ合いの展開が続いた。また、ベージュブックの発表を控えて様子見気分も強かった。

午前の利回りは、30年債が3.78%（前日3.79%）、10年債が2.86%（2.86%）、7年債が2.32%（2.31%）、5年債が1.69%（1.68%）、3年債が0.82%（0.81%）、2年債が0.43%（0.42%）。

1 : 30

《 要人発言 》

ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁～講演

- ・「2015年の遅い時期に利上げを予想」
- ・「金融政策は当分の間極めて緩和的に」
- ・「年末までに債券購入を減速させることを支持」

《ポイント》

5日に開幕するG20首脳会合では、米国の量的金融緩和政策の行方が焦点となる。FRBは、米雇用統計の結果を踏まえ、月内にも緩和縮小に踏み切るかどうかを判断する。ただ、緊迫化するシリア情勢を受けた原油価格の上昇が新たな波乱要因となっており、G20の対応が米金融政策決定を左右する可能性も考えられる。

近く米緩和が縮小されるとの観測が新興国からの資金流出が続いており、減速を強める経済への打撃になると警戒されている。資金流出が進み自国通貨レアル安に歯止めがかからず、景気低迷下でも利上げを迫られているブラジルのマンテガ財務相は、G20開幕を前にFRBの政策判断を牽制している。

《海外の話題》

インドの通貨ルピーは、過去最安値を更新して1ドル=70ルピーより安い水準となる可能性があるほか、ルピー安の食い止め苦戦でインド中銀の信頼性は傷ついたと、金融政策諮問委員会メンバーが指摘した。通貨対策は4日就任するラジャン新総裁にとっての優先課題となる。過去最大の経常赤字を抱えるインドからは、米国の金融緩和縮小見通しをきっかけに資金流出が加速している。ルピー相場は、年初来で19%下落しており、ルピー安食い止めに苦戦している。

《欧州債券市場》

欧州債市場は、ベルルスコー二元首相が自身の議員資格剥奪に関する採決の前に連立政権への支持撤回を検討する可能性があることと報じられたことを背景に、イタリア10年債が下落した。また、EUとIMFがポルトガル向けの予防的措置を協議しているとの報道から、10年債利回りは6週間ぶりの水準に上昇した。

イタリア10年債利回りは、前日比7bp上昇の4.42%、ドイツ10年債利回りは1.94%で前日からほぼ変わらずとなり、英10年債利回りは2.87%となった。

《欧州のポイント》

①8月のユーロ圏総合景気指数は51.5と、7月の50.5から上昇となった。ただ、速報値の51.7からは下方修正されたものの、2011年6月以来の高水準を維持しており、域内の景気回復が勢いを増している兆候が伺える。

ユーロ圏製造業景気指数改定値は、51.4となり速報値の51.3から上方修正された。また、8月のサービス業景気指数は50.7と、速報値の51.0から下方修正されたものの、2012年1月以来で初めて活動拡大が示された。

ユーロ圏経済は4-6月に前期比+0.3%に回復。ドイツとフランスが牽引役だった。ECBは、5日定例政策委員会を開き、最新の経済見通しを明らかにする。従来の成長率予測は今年が-0.6%、来年は+1.1%となっている。

②ポーランド中銀は、政策金利を2.50%に据え置くことを決定した。景気回復の兆候が見られるなか、7月に緩和サイクルはこれで終了するとの見解を示しており、市場の注目は利上げに転じる時期に移っている。一連の利下げで、ポーランドの政策金利は2012年11月から約半分の水準になっている。

③トルコ中銀は、年末の経常赤字の対GDP比率が政府予想の7.1%を下回るという見通しを示した。中銀は為替相場がインフレに一時的な影響を与えるという見方を示した。また、外貨流動性は必要ならば外貨準備から供給されると述べた。

3:00

《米地区連銀経済報告》

- ・「製造業活動は緩慢な拡大」
- ・「雇用は横ばい、もしくは緩慢な拡大」
- ・「住宅はまずまずの成長」
- ・「物価上昇圧力は依然抑制されている」
- ・「緩慢ないしまずまずの成長、自動車と住宅けん引」
- ・「賃金上昇圧力、引き続き総じて緩慢」
- ・「大半の地区で自動車販売に勢い」
- ・「融資活動は若干弱まった」

3:40

NY金は、中心限月が前日比22.00ドル安の1オンス=1390.00ドルで取引を終了した。

4:15

NY原油は、中心限月が前日比1.31ドル安の1バレル=107.23ドルで取引を終了した。

4:25

米上院外交委員会は、10対7で決議案を可決、限定的シリア攻撃を承認。なお、米上院本会議は来週、シリア攻撃決議案を審議。

《ここまでの動き》



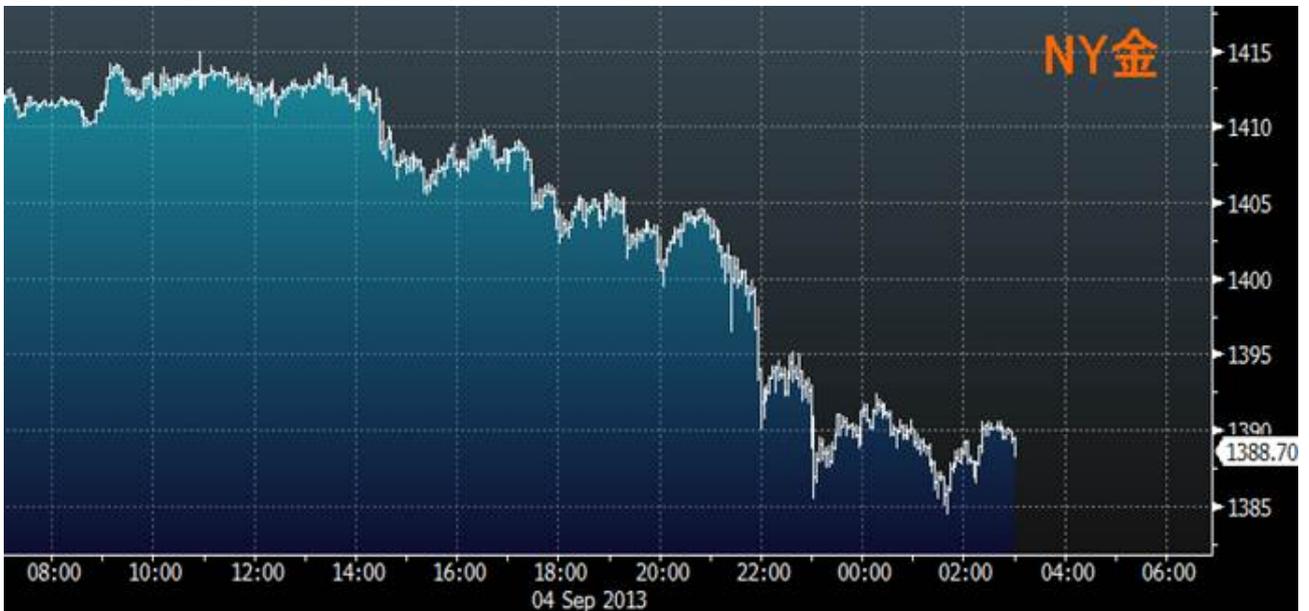
(出所: ネットダニアー)

要商品	終値	前日比
NY GOLD	1390.00	-22.00
NY 原油	107.23	-1.31

(出所: ブルームバーグ)

《 NY 金市場 》

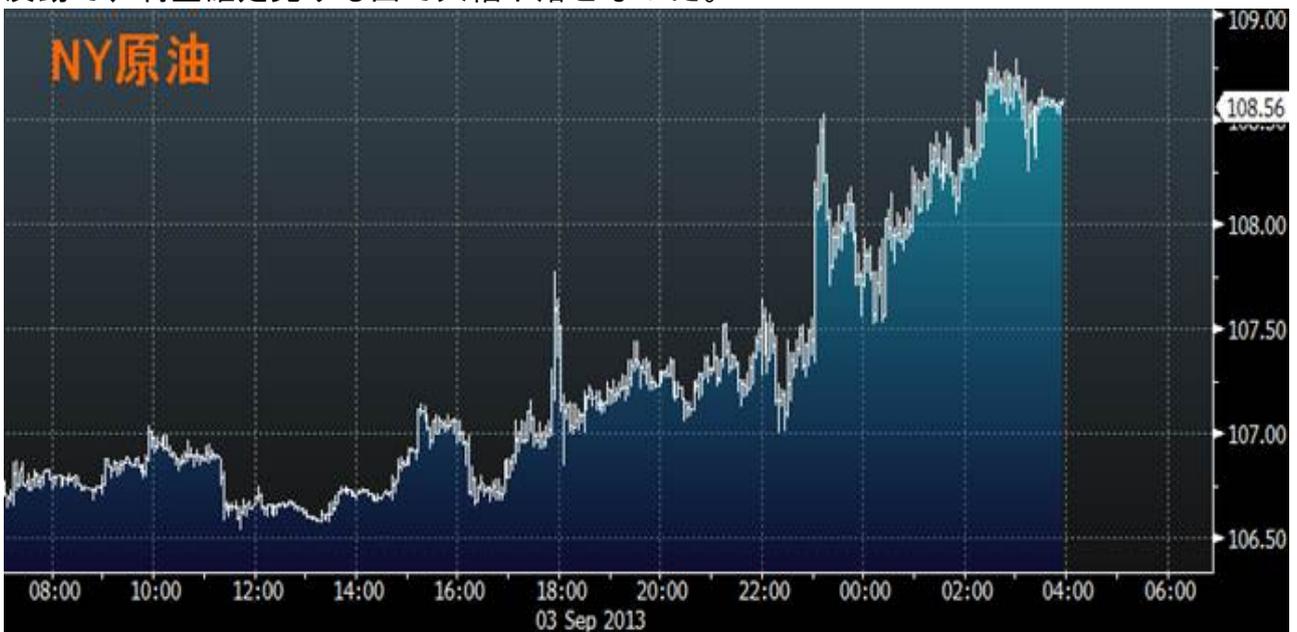
NY金は、8月の米雇用統計の発表を控えて、当面の利益を一旦確定させる売りが膨らんだ。米国が早急にシリアに対して軍事介入に踏み切る可能性は少ないとの見方から逃避的な買いも後退したことから大幅反落となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米国がシリアへの軍事介入を実施した場合でも攻撃は限定的になるとの見方から、中東原油の供給不安が後退して売りが優勢となった。また、最近の相場上昇の反動で、利益確定売りも出で大幅下落となった。



(出所:ブルームバーグ)

米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	14930.87	+96.91	14956.74	14799.09
S&P500 種	1653.08	+13.31	1655.72	1637.41
ナスダック	3649.04	+36.43	3651.78	3612.23

(出所:ブルームバーグ)

《米株式市場》

米株式市場は、米貿易収支で赤字額が拡大したことを受けて、序盤はやや軟調な動きも見られた。しかし、米雇用統計を控え様子見ムードも広がる中、下落が続いて割安感も出て買いが優勢となり、堅調な展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤マイナス圏で上値の重い展開となった。しかし、その後は堅調な動きとなり、一時前日比で 122 ドル高まで上昇したものの、終盤にかけては上値の重い展開が続いた。



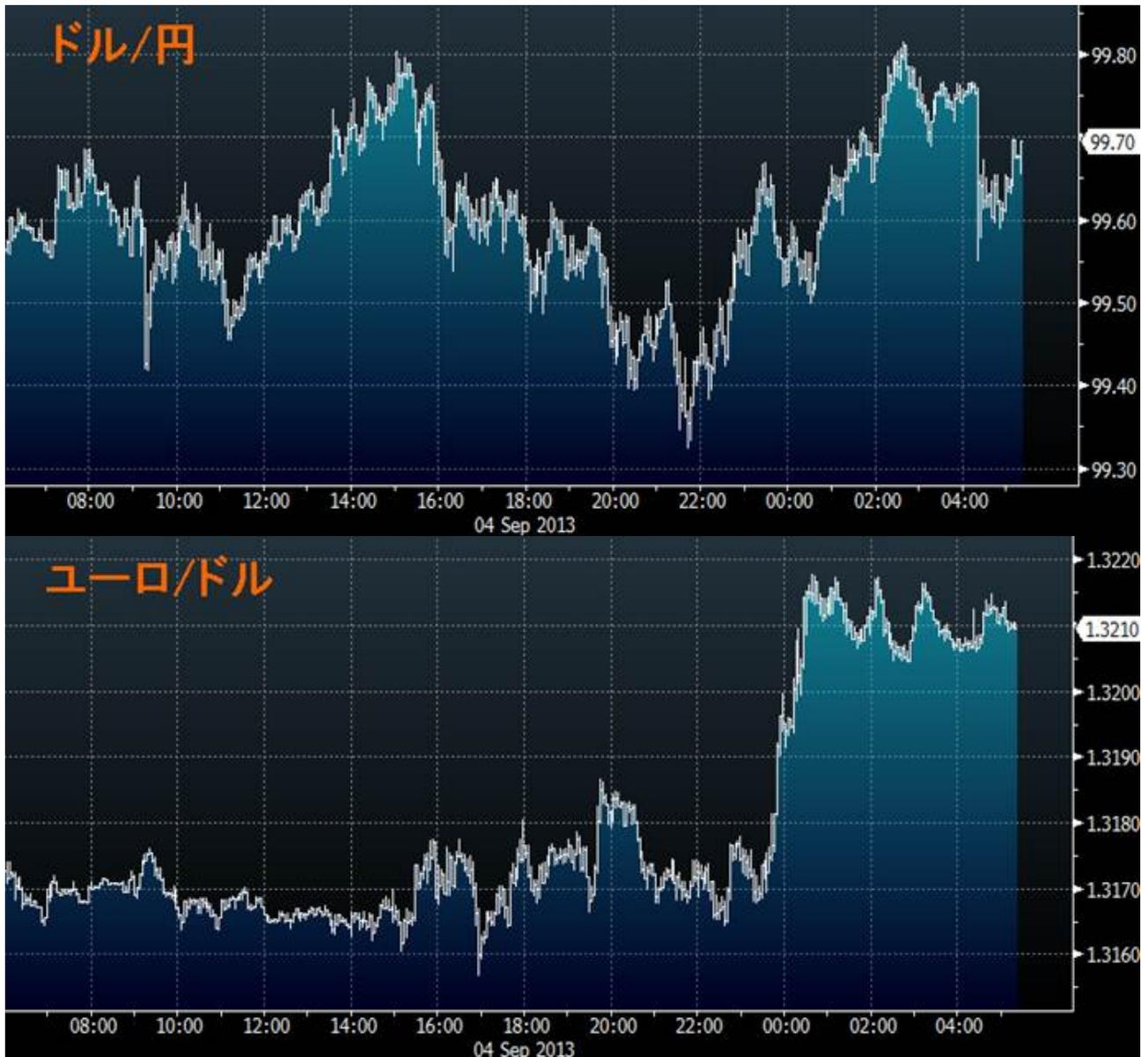
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	99.71	99.82	99.33
EUR/JPY	131.67	131.81	130.82
GBP/JPY	155.80	156.01	155.04
AUD/JPY	91.42	91.56	90.97
NZD/JPY	78.85	79.03	78.35
EUR/USD	1.3206	1.3218	1.3164
AUD/USD	0.9169	0.9188	0.9151

(出所:ブルームバーグ)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米貿易収支で赤字額が拡大したことからドル円・クロス円はやや軟調な動きとなったものの、その後は株価が上昇したことから堅調な動きとなった。しかし、終盤には米上院外交委員会が限定的なシリア攻撃を承認したとの報道を受けてリスク回避の円買いが優勢となり、ドル円・クロス円は反落となった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。